

平成 28 年度 ゆうかり学園 事業報告

1. 事業内容

事業	利用者延べ数(名)	開所日数(日)	平均実利用者数(名)
施設入所支援	16,581	365	45.4
生活介護	15,681	242	64.8
就労移行支援	1,417	245	5.7
就労継続支援 A 型	1,420	255	5.5
就労継続支援 B 型	7,893	237	33.3

※平成 28 年度実績

2. 事業報告

1) 施設入所支援

期首 58 名でスタートしたが、5 月 15 日、7 月 24 日に 2 名の方が亡くなり、9 月に開所したグループホーム（たんぼぼ・もくれん）に 8 名の男性利用者が入居され、10 月に特養に 1 名転所され、期末 47 名となった。

2) 生活介護

期首 78 名でスタートしたが、上記、施設入所支援と同様の理由により、期末 75 名となった。昨年に引き続き、認知症の進行や加齢による機能低下、疾病のための通院・入院が増加する等、支援から介護へと業務内容が格段に変わりつつある。勤務体制も様々な形を導入する等、複雑になっているため、今後事業の在り方も含めて検討を進めている。

3) 自立訓練(生活訓練)

平成 27 年 3 月 31 日付で休止。(平成 30 年 3 月 31 日まで)

4) 就労移行支援

期首 7 名でスタートし、昨年度に続き 1 名が一般就労へと繋がり、職場定着に向けて継続した支援を行っている。その他事業変更のため、期末 6 名となった。今後も事業を継続するためには、新たな若年層の利用者を確保するとともに、職員の支援体制の見直しが急務である。

5) 就労継続支援 A 型

期首 6 名でスタートした。サービス変更等はななく、期末 6 名であった。

A 型は「ぽおくしょっぷ遊花里」の利用者のため、餃子成形を中心とした生産活動に従事し、少人数での活動を楽しく取り組まれていた。

6) 就労継続支援 B 型

期首 39 名でスタートしたが、生活介護へのサービス変更、2 名お亡くなりになり、期末 37 名となった。B 型の利用者は高齢の方も多いため、今後は生活介護で記載した内容と同様の理由でサービス変更を余儀なくされると想定する。

平成 28 年度期首から現在までに、施設入所利用者 2 名、グループホーム利用者 2 名が亡くなられた。

日中活動報告

1) 園芸（蔬菜）

安心安全をモットーに減農薬に努め皆に喜ばれる野菜づくりを目指し生産活動に取り組んだ。主に作付けは加工（餃子）材料（玉ねぎ、白ネギ、キャベツ）を中心であるが、その他の四季の野菜作りにも力を入れた。グループホームの給食材料として、職員への一般販売と色々と好評であった。

2) 園芸（花卉果樹）

学園の花壇に花苗を植えることは勿論、施設外就労にて、ゴルフ場の花壇、みなよし療護園の花壇等に、花苗の植え付けを定期的に計画し、季節に合った花苗を育苗した。

果樹は主にみかん、ブルーベリーを栽培し、生果販売並びにジャム、ジュースへと加工販売を行っている。また、保育園園児に向けて、みかん狩り、ブルーベリー狩りの場所として、提供し喜ばれている。

3) 畜産

純粋黒豚の一貫生産から加工までと、日々生産に取り組んでいる。美味しい肉作りを目指し、残渣、野菜くず、芋くずを利用して肥育を充実させると共に、余剰豚については、競りや他店に出荷する等、高値で販売している。

また、黒牛の生産は順調で、現在、競り値も右肩上がりであり、高値で出荷出来ている。疫病対策にも力を入れ、牛舎、豚舎の消毒を徹底した。

4) 工芸（木工）

年々材料の屋久杉が手に入らない中、少ない人数にて、民芸品店からの注文に遅れることなく納品販売が出来ている。

5) 工芸（竹工）

材料の確保が難しい時期もあるが、年間販売は順調である。販売原価もかからないため、一定の収益が見込め、前年度と同様の製作本数を維持できている。

6) 紙工

箱折りの受注注文は定期的であり、目抗、スプラウトシール貼りも同様に依頼を受け、繁忙期は他の部署から応援を貰い対応した。また、毎週木曜日には手芸製品作りも目指し、充実した活動だった。

7) そうさく

バイタルチェック、検温等を朝夕に実施し健康管理に気を配った。主にリサイクル活動に取り組み、缶、ペットボトルの分別、圧縮を行なった。リサイクル活動の材料がない時は散歩、レクリエーションを企画し活動を行った。

8) 生活介護

高齢の方、車いすの方も多く、健康管理を中心に健康体操、散歩等を取り入れた体力維持に努められるように活動を行った。

9) ぽおくしょっふ遊花里

店頭販売、配送販売を中心に安定した生産活動を実施している。課題は繁

忙期（盆・正月）に向けた在庫のストック作りである。

3. 職場実習及び施設外支援

(有)ニッセイ鹿児島、ゆうかり保育園、久保水耕園、富士産業(株)にて職場実習の場として利用者を受け入れていただき、一般就労に繋がられるよう、年間を通してユニットを組み実施した。しかし、27年度に一般就労出来た方が11月には退職になり、職場定着の難しさを痛感させられることもあった。しかしながら、29年1月には、職場実習に一生懸命取り組まれていた方が、(有)ニッセイ鹿児島に雇用して頂き、ご家族に喜ばれる等、成果もあった。

今後もフォローを忘れることなく支援を継続し、また、次の方の就職に繋がるよう、サポート体制を整えていく。

4. 各研修・行事

平成28年度		
月日	研修・行事名	参加人数
4月3日	春山地域総会	1
4月11日	鹿児島大学附属養護学校入学式	1
4月14日	鹿児島県社会福祉協議会総会	4
4月24日	ボランティア活動	1
4月24日	鹿児島県障害者球技大会	
5月15日	鹿児島県障害者スポーツ大会	4
5月16日	桜島サポート協会事務説明会	1
5月20日	鹿児島市連絡協議会	
5月22日	鹿児島市農林水産まつり	
5月30・31日	新人職員研修	1
5月30日	ナイスハーツスポーツ大会	
6月15・16日	新人職員研修	2
6月19日	施設職員ボーリング大会	
6月23・24日	全国施設長研修会	2
6月24日	医療福祉ガイダンス	3
7月1日	鹿児島養護学校施設説明会	2
7月7日	医療福祉専門学校施設見学実習	1
7月8日	鹿児島県警察学校生徒職場体験	
7月8日	武岡台養護学校施設説明会	2
7月8日	串木野養護学校施設説明会	1
7月13・14・15日	就業基礎研修	1
7月28日	就労支援ネットワーク会議	1
8月6日	家族会総会・ふれあい夏祭り	
8月18日	ゆうかり学園監査	

8月23・24日	サマーボランティア体験	2
8月29日	人権擁護研修	1
8月23・24日	明桜館高校運動会	3
9月15・16日	相談支援従事者初任者研修	4
9月18日	法人内部研修(田中正博氏)	
9月18日	マッスルミュージカル	2
9月25日	鹿児島市障害者スポーツ大会	
10月4・5日	九州地区施設長会	2
10月6日	鹿児島県警察学校生徒職場体験	
10月16日	ゆうかり保育園バザー	11
10月19 - 21日	相談支援従事者初任者研修	1
10月23日	妙円寺詣り	
10月30日	春山地域運動会	
11月3日	おはら祭り	
11月13日	わくわく交流フェア	
11月25日	保護者参観	
12月23日	餅つき・利用者忘年会	
1月10日	虐待防止・権利擁護研修	1
1月11日	虐待防止・権利擁護研修	1
1月14・15日	保護者・職員との研修	2
1月20日	さんさん会	2
2月1日	社会福祉施設経営者協議会会計研修	1
2月10 - 12日	アメニティフォーラム	6
2月8・9日	サービス管理責任者研修	2
2月20・21日	サービス管理責任者研修	2
3月1日	鹿児島市連絡協議会	3
3月2日	鹿児島市育成会	4
3月22日	各種別部会	3
9月-3月	工賃研修(ゆうかり学園内実施)	9
4月-9月	強度行動障害従事者研修(内部研修)	

5. 研修生・ボランティア受け入れ状況

期間	男性	女性	所属	趣旨
6/6~6/18	2		鹿児島国際大学	保育実習
7/19~7/22		5	鹿児島医療福祉専門学校	歯科衛生実習
8/8~9/7		1	鹿児島国際大学	ソーシャルワーク実習
8/16~8/27		1	鹿児島女子短期大学	保育実習
8/22~8/25	1	2	サマーボランティア	
9/6~9/17		3	鹿児島女子短期大学	保育実習

9/12～9/16		5	鹿児島医療福祉専門学校	歯科衛生実習
9/20～10/1		3	鹿児島女子短期大学	保育実習
10/3～10/7		5	鹿児島医療福祉専門学校	歯科衛生実習
10/24～10/28		5	鹿児島医療福祉専門学校	歯科衛生実習
10/25～11/9		2	鹿児島開陽高等学校	介護福祉実習
11/7～11/11		5	鹿児島医療福祉専門学校	歯科衛生実習
2/20～3/1		4	香蘭女子短期大学	保育実習
2/27～3/11		2	鹿児島純心女子短期大学	保育実習
3/17～3/26		4	香蘭女子短期大学	保育実習
7/27～8/5		1	家裁少年	短期補導委託
8/24～8/26	1		家裁少年	短期補導委託
8/29～9/2	1		家裁少年	短期補導委託
3/16～3/23	1		家裁少年	短期補導委託
合計	6	48		

6. 職員勤務状況

28年度は、女性職員4名 男性職員2名退職

女性職員の退職により勤務に無理が生じている。職員募集は行っているが希望がなく職員確保が早急の課題である。

7. 監査指摘事項

8月18日 実地指導 障害者支援施設 (文書 2件 口頭 2件)
短期入所 (文書 0件 口頭 2件)
指導監査 ゆうかり学園 (文書 3件 口頭 5件)

8. 今後に向けて

ゆうかり学園は、高齢化が進んで行く中、多種のサービス提供が求められている。毎日2・3名が通院し、入院も長期になって来ている状況であるため、要介護に向けた体制の充実を図らなければならない。

また、上記に伴い、日中活動(生産活動)に従事する職員が様々な勤務体制のため配置が厳しくなっている。工賃向上計画もあるが、就労系サービスを利用する方のためにも安定した工賃を支払うためにも、一定の生産を上げる努力も必要であり、新たな目標や創意工夫を考えていかなければならない。